

貯蔵容器の点検記録について

平成 29 年 7 月 18 日
日本原子力研究開発機構
大洗研究開発センター

燃料研究棟における汚染事故に関連し、プルトニウム・濃縮ウラン貯蔵容器(以下、「貯蔵容器」という)の点検記録について燃料研究棟の月報、技術レポート及び点検記録等の調査ならびに燃料研究棟の関係者(退職者含む)からの聞き取り調査等を進めていたところ、平成 29 年 7 月 14 日に、燃料研究棟内のネットワークハードディスクの中に汚染事故の原因となった No. 1010 を含む貯蔵容器の点検記録(貯蔵容器梱包更新の記録)が見つかった。

この点検記録によれば、点検は平成 8 年 5 月から 7 月(一部は平成 9 年 2 月)にかけて行われており、当時貯蔵されていた貯蔵容器 64 個の点検記録が記されていた(下表参照)。

表 貯蔵容器の点検記録の概要

項目	個数	備考
貯蔵容器点検総数	64	
異常なし	41	
異常あり	23	
異常ありの内訳	樹脂製の袋膨張及びポリ容器底部破損	1 更新(交換)、当該貯蔵容器(1010) 内容物「X線回折済打抜試料」
	樹脂製の袋膨張	1 更新(交換)、貯蔵容器番号:1051 内容物: $\text{Pu}(\text{NO}_3)_4 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$
	樹脂製の袋や容器の変色	21 更新(交換)